

白河市行政改革推進委員会委員委嘱状交付式及び平成30年度第2回委員会会議録（要旨）

日 時	平成30年9月21日（金） 午後2時00分～午後3時30分
場 所	白河市役所 301会議室
出席者	委員7名 和知裕幸委員長、入谷みちこ委員長職務代理者、芳賀幸子委員、鈴木長一委員、市川淳一委員、小磯厚子委員、三浦徹委員
白 河 市	3名 常松総務部参事兼経営改革推進室長、鈴木経営改革推進室主幹兼室長補佐兼係長、坂上主査
資料	白河市行政改革プラン
<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>■議事：重点取り組み事項の選定について</p> <p>委員長 今回は、前回示された白河市行政改革プランの進行管理表の内容から、担当課へヒアリングする項目を選定する。委員からヒアリングの対象としたい項目について伺う。</p> <p>委 員 「19. 公共施設のあり方検討」について教育施設の今後の方針について伺いたい。</p> <p>委 員 同じく「19. 公共施設のあり方検討」について、表郷地域の防災無線は各家庭内でも聞こえるようになっているが、他の地域では家庭内で聞こえない地域もあり、統一性がない。</p> <p>また、近隣の公共施設では、月に4回程度老人のカラオケ等にしか利用がない施設がある。公共施設全体に言えることだが、利用が少ない施設については、別な施設での利用を調整する等して、現在の施設を整理することが必要ではないか。</p> <p>委 員 防災無線の関係では、北朝鮮のミサイル発射の際にJアラートを受信できなかった地域もある。今後の防災無線のあり方について伺いたい。</p> <p>事務局 教育施設、防災無線、公共施設全体の今後の方針について、次回担当課よりヒアリングを行う。</p>	

委員 「5. 組織機構の見直し」について、新しい部署ができるとう職員が業務を把握するのに時間と労力があるし、時間外勤務が増加するおそれがある。また、市民サービスが低下するおそれもある。

委員 縦割り組織に問題があると思う。市民サービスの低下を招いており、異動により職員も大変である。ある程度は対応した職員が受け答えを行い、詳細の話になった場合に担当へつなぐ等、横のつながりを大事にして欲しい。

事務局 県では係制度ではなくグループ制をとったことで、責任の所在が不明確になる場合があると聞いた事があり、縦割りにしないと生じる問題もある。「5. 組織機構の見直し」についても担当課よりヒアリングを行う。

委員 「13. 市税等その他各種収納対策の強化」について、財減確保の面から税収は非常に大事であり、滞納対策の強化が必要である。また、奨学金の返済も滞っている事例もあるようであり担当課へ伺いたい。

事務局 税の徴収率については、平成 29 年度の現年度課税分の徴収率が 99.34%となり、県内 13 市で 1 位となった。今後も継続して取り組む必要がある。「13. 市税等その他各種収納対策の強化」についても担当課よりヒアリングを行う。

委員 「6. 職員研修の実施」について、市民サービスを向上させるには、まず職員の心と体の健康が大事であるとする。病休となっている職員の数を知りたい。ストレスもどのように対応するかで向上につながるケースもあると考えており、ストレスコントロールをどのように研修しているか知りたい。

また、市役所に来ても挨拶をしない職員がいまだに見受けられる。市民サービスの基礎的な部分のため、接遇に関する研修もどのように行っているか知りたい。

委員 ストレスの話しにもつながるが、近年はサービスの要求が変わってきて、サービスを受けることが当たり前になってきており、サービスの提供が大変になってきている。市民の意識を啓発して、市民が市の取組みに参加してもらえるよう、ボランティアを募ったり、市政に参加するようなイベント等を企画してはどうか。

事務局 年に何度も市役所に来る市民は少なく、その時の対応で市役所の印象が決まってしまう。当然のことであるが、挨拶は基本中の基本である。また、職員のストレスケアも近年の課題であるため、「6. 職員研修の実施」についても担当課よりヒアリングを行う。